

【補助金等情報】

以下は、2024 年時点で各所管機関の Web サイトで公開されている情報を元に取りまとめたものです。実際に申請を検討される際には、最新の情報を確認してください。

＜環境活動支援＞

名 称	大阪府環境保全活動補助金
所 管	大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
対 象	地球温暖化防止活動や環境美化活動などの実践活動 環境イベントや学習会などの教育啓発活動 環境保全に関する調査研究活動
補助率	下記①②のうち低い方の額、かつ上限 35 万円、下限 5 万円の範囲内 ①補助対象経費の 2 分の 1 ②補助対象経費から事業実施に伴う収入（事業参加者から徴収する参加料、事業に伴う広告料や出展料、事業への協賛金など）を減じた額
U R L	https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html

名 称	地球環境基金
所 管	独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部
対 象	活動分野 ・自然保護・保全・復元／ 森林保全・緑化／ 大気・水・土壌環境保全 ／総合環境教育／その他の環境保全活動 他 活動形態 ・実践活動／知識の提供・普及啓発 他 対象となる団体 ・特定非営利活動法人／一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、 公益財団法人／任意団体（条件あり） ・企業・地方公共団体は対象外
助成額	活動内容に応じて、50 万円～300 万円等
U R L	https://www.erca.go.jp/jfge/

名 称	大阪湾広域臨海環境整備センター「環境保全市民活動等助成金」
所 管	大阪湾広域臨海環境整備センター
対 象	水域環境保全（水質保全、水域生物環境の保全等）に関する環境教育、啓発活動 ※大阪湾広域臨海環境整備センター広域処理対象区域内の地方公共団体からの推薦等の条件有
助成額	助成対象経費の 1/2 以下（10 万円を上限）
U R L	http://www.osakawan-center.or.jp/index.php/citizens-activities-grant

名 称	セブン・イレブン記念財団「環境市民活動助成」
所 管	セブン・イレブン記念財団
対 象	自然環境保護や生物多様性の保全、気候変動対策、体験型の環境学習など、市民が主体となって行う環境活動を1年間支援
助成額	1団体あたり30万円～最大400万円
URL	https://www.7midori.org/josei/

名 称	サンライズ財団環境助成金
所 管	公益社団法人 日本フィランソロピー協会
対 象	対象事業 ・地域に根付いた環境保全や環境整備 ・子供たちへの環境教育 対象者 ・公益性を有し、利益を追求しない法人 ・公益法人、特定非営利活動法人、一般法人（任意団体は対象外） ・法人格を取得後3年以上の本助成のテーマに関する活動実績有
助成額	1法人1事業を対象とし、上限100万円
URL	https://www.philanthropy.or.jp/sunrise/2024/

<子ども育成支援>

名 称	子どもゆめ基金
所 管	独立行政法人国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部
対 象	自然体験活動 ・豊かな自然を活用した屋外活動 ・フィールドワークを活用した環境教育活動 ・身近な自然を生かした探究活動 等 科学体験活動 ・科学実験・観察実習活動 ・ものづくり体験や自然科学のワークショップ 等 他
助成額	全国規模の活動：1団体あたり最大600万円 都道府県規模の活動：1団体あたり最大200万円 市区町村規模の活動：1団体あたり最大100万円
URL	https://yumekikin.niye.go.jp/

名 称	子供たちの環境学習活動に対する助成事業
所 管	公益財団法人高原環境財団
対 象	・申請者が小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動 ・活動参加者が、おおむね日本国内の都市部またはその周辺地域居住者であること
助成額	助成対象費用の額、または 50 万円のいずれか少ない額 予算額 500 万円 ※ただし、緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業の採択額が 1,700 万円を下回る場合、同事業との合計額 2,200 万円の範囲内で増額することがある。
U R L	https://takahara-env.or.jp/subsidy/

名 称	公益財団法人ノエビアグリーン財団 助成事業
所 管	公益財団法人ノエビアグリーン財団
対 象	対象事業 ・自然体験を通じて、子供たちの自然への理解や興味関心を深めることを目的とした活動 ・環境保全や改善について子供たちの意識向上を図ることを目的とした活動 ・地域の子供たちの教育の向上や健全な育成に貢献する体験活動 対象者 ・児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体
助成額	1 件あたり上限 300 万円
U R L	https://www.noevirgreen.or.jp/grants/

<水辺環境づくり>

名 称	公益財団法人日本財団 助成金
所 管	公益財団法人日本財団
対 象	対象事業内容 ・海や船に関する事業 海の安全・環境をまもる／海と身近にふれあう 他 対象団体 ・日本国内に所在する、財団法人・社団法人・特定非営利活動法人（NPO 法人）・任意団体（法人格のない団体）など、非営利活動・公益事業を行う団体（株式会社などの営利法人は対象外）
補助率	助成対象事業費総額の 80%以内
U R L	https://www.nippon-foundation.or.jp/grant_application

名 称	河川基金
所 管	公益財団法人河川財団
対 象	<川づくり団体部門> (流域川づくり団体) ・ 河川や流域への理解を深める活動 ・ 河川教育を支援する活動 ・ 人材育成、指導者育成に焦点を当てた活動 ・ 川づくり団体が行う社会教育的活動 ・ 河川環境の保全活動 ・ 防災・減災に関する活動 他 <学校部門> (河川教育とりくみ支援) ・ 教育計画の検討 : 河川教育を取り入れたカリキュラム、指導計画、単元・教材等の開発のための資料収集・調査及び検討 等 ・ 地域等との連携強化 : 地域の関係機関、専門家や市民団体等との連携強化 等 ・ 体験活動の準備・試行: 川や水辺の事前調査、安全活動のための準備、体験活動等の試行 等 他
補助額	川づくり団体部門: 定額 30 万円～100 万円 学校部門 (河川教育とりくみ支援): 定額最大 10 万円
URL	https://www.kasen.or.jp/kikin/tabid289.html

名 称	一般財団法人みなと総合研究財団「未来のみなとづくり助成」
所 管	一般財団法人みなと総合研究財団
対 象	対象事業 ・ 環境教育等に係る港や海辺の活動 ・ 港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究 対象者 ・ 港や海辺を活動の拠点とする特定非営利活動法人、もしくは、それに準じた実績を有する任意団体等 ・ 港湾の利用促進や港湾・海域環境の保全・再生等に関する調査研究を行う大学、研究機関、特定非営利活動法人
助成額	海辺活動: 1 活動あたり 20 万円を限度 調査研究: 1 研究あたり 40 万円を限度
URL	https://www.wave.or.jp/doc/zyosei_index.html

<自然とのふれあい>

名 称	公益信託富士フィルム・グリーンファンド(活動助成・研究助成)
所 管	一般財団法人自然環境研究センター
対 象	自然環境保全活動もしくは自然とのふれあい活動 「自然とのふれあい」＝自然と接し楽しむだけではなく、自然環境保全、自然環境教育、自然環境保護思想の普及に資する啓発につながるもの
助成額	8 件程度、総額 850 万円を予定
U R L	http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf_ken.htm

名 称	生物多様性保全推進交付金（エコツーリズム地域活性化支援事業）
所 管	環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室
対 象	以下の要件を全て満たした協議会が行う事業 ・協議会が地域の多様な主体から構成されており、エコツーリズムを推進しようとする地域の市町村が組織していること。 ・協議会として、意思決定の方法、事務処理及び会計処理の方法及び責任者、財産管理の方法及び責任者、内部監査の方法等を明確にした規約その他の規定が定められていること（設置見込みがある協議会も含む。）。
助成額	以下のうち最も少ない額に補助率2分の1 を乗じて得た額 ・総事業費から寄付金その他の収入額を控除した額 ・事業の実施に係る経費のうち、交付金の対象として環境大臣が認める経費 ・1,000 万円（限度額）
U R L	https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/env/chiiki_shien/koufu/index.html

アンケート様式（例）（エコツアー用）

1.	今回の（エコツアー名）の開催はどこでお知りになりましたか。 ☐ （実施団体名）の公式ホームページ ☐ （実施団体名）の公式 SNS ☐ フェイスブック ☐ X ☐ インスタグラム ☐ その他（ ） ☐ 地元自治体の広報誌 ☐ 地元観光協会のホームページ・SNS ☐ 他機関の窓口に置かれていたチラシ ☐ その他（ ）
2.	今回の（エコツアー名）に参加されて、大阪湾に対してどんなイメージを持ちましたか。 該当するもの全てに「○」を付けてください。 （ツアー内容に合わせて選択肢を変更） ☐ 多くの生物が生息している。 ☐ 多くの自然がある。 ☐ 水質がきれい。 ☐ 遊べるところが多い。 ☐ 景色が良い。 ☐ 食べ物（海の幸）がおいしい。 ☐ 歩きやすい散策コースがある。 ☐ その他（ ）
3.	今回の（エコツアー名）に参加されて、今後、自分でも（基本テーマ）に取り組んでみようと思いましたか。 ☐ 是非とも取り組んでいきたい。 ☐ 取り組んでいきたい。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ 取り組むつもりはない。
4.	「3.」で「是非とも取り組んでいきたい」、「取り組んでいきたい」と答えられた方にお伺いします。具体的にどんなことに取り組んでみようと思いますか。 （ツアー内容に合わせて選択肢を変更） ☐ 海ごみの原因となるプラスチック（PET ボトル、レジ袋等）の使用を減らそうと思う。 ☐ 大阪湾に棲む生物のことを調べようと思う。 ☐ 海辺の清掃に参加しようと思う。 ☐ 海や川の水質を汚すようなことはやめようと思う。 ☐ その他（ ）

5. 今回の（エコツアー名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

（良かった） ←————→ （良くなかった）
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

6. 今後、同じようなエコツアーが開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- ☐ 是非とも参加したい。
- ☐ 内容によっては参加したい。
- ☐ どちらとも言えない。
- ☐ 参加しない。

7. 今後、実施してほしいエコツアーのテーマがありましたら自由にお書きください。

--

アンケート様式（例）（体験型環境学習用）

1.	今回の（体験型環境学習名）の開催はどこでお知りになりましたか。 ☐ （実施団体名）の公式ホームページ ☐ （実施団体名）の公式 SNS ☐ フェイスブック ☐ X ☐ インスタグラム ☐ その他（ ） ☐ 地元自治体の広報誌 ☐ 他機関の窓口に置かれていたチラシ ☐ その他（ ）
2.	今回の（体験型環境学習名）に参加されて、大阪湾に対してどんなイメージを持ちましたか。該当するもの全てに「○」を付けてください。 （学習内容に合わせて選択肢を変更） ☐ 多くの生物が生息している。 ☐ 多くの自然がある。 ☐ 水質がきれい。 ☐ プラスチックなどのごみが多い。
3.	今回の（体験型環境学習名）に参加されて、（基本テーマ）に関する理解は進みましたか。 ☐ よく理解できた。 ☐ まあまあ理解できた。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ あまり理解できなかった。 ☐ 全く理解できなかった。
4.	今回の（体験型環境学習名）に参加されて、今後、自分でも（基本テーマ）に取り組んでみようと思いましたか。 ☐ 是非とも取り組んでいきたい。 ☐ 取り組んでいきたい。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ 取り組むつもりはない。
5.	「4.」で「是非とも取り組んでいきたい」、「取り組んでいきたい」と答えられた方にお伺いします。具体的にどんなことに取り組んでみようと思いますか。 （学習内容に合わせて選択肢を変更） ☐ 海ごみの原因となるプラスチック（PET ボトル、レジ袋等）の使用を減らそうと思う。 ☐ 大阪湾に棲む生物のことを調べようと思う。 ☐ 海辺の清掃に参加しようと思う。 ☐ 海や川の水質を汚すようなことはやめようと思う。 ☐ その他（ ）

6. 今回の（体験型環境学習名）に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

（良かった） ←————→ （良くなかった）
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

7. 今後、同じような体験型環境学習会が開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- ☐ 是非とも参加したい。
- ☐ 内容によっては参加したい。
- ☐ どちらとも言えない。
- ☐ 参加しない。

8. 今後、実施してほしい体験型環境学習会のテーマがありましたら自由にお書きください。

--

アンケート様式（例）（生物多様性の保全活動用）

1.	今回の（生物多様性の保全活動名）の開催はどこでお知りになりましたか。
	☐ （実施団体名）の公式ホームページ ☐ （実施団体名）の公式 SNS ☐ フェイスブック ☐ X ☐ インスタグラム ☐ その他（ ） ☐ 地元自治体の広報誌 ☐ 他機関の窓口に置かれていたチラシ ☐ その他（ ）
2.	今回の（生物多様性の保全活動名）に参加されて、大阪湾に対してどんなイメージを持ちましたか。該当するもの全てに「○」を付けてください。 （学習内容に合わせて選択肢を変更） ☐ 多くの生物が生息している。 ☐ 多くの自然がある。 ☐ 水質がきれい。 ☐ プラスチックなどのごみが多い。
3.	今回の（生物多様性の保全活動名）に参加されて、生物多様性の重要性に関する理解は進みましたか。 ☐ よくわかった。 ☐ 少しわかった。 ☐ あまりわからなかった。 ☐ 全くわからなかった
4.	今回の（生物多様性の保全活動名）に参加されて、（基本テーマ）に関する理解は進みましたか。 ☐ よく理解できた。 ☐ まあまあ理解できた。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ あまり理解できなかった。 ☐ 全く理解できなかった。
5.	今回の（生物多様性の保全活動名）に参加されて、今後、自分でも（基本テーマ）に取り組んでみようと思いましたか。 ☐ 是非とも取り組んでいきたい。 ☐ 取り組んでいきたい。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ 取り組むつもりはない。

6. 「5.」で「是非とも取り組んでいきたい」、「取り組んでいきたい」と答えられた方にお伺いします。具体的にどんなことに取り組んでみようと思いますか。

(学習内容に合わせて選択肢を変更)

- ☐ 海ごみの原因となるプラスチック(PET ボトル、レジ袋等)の使用を減らそうと思う。
- ☐ 大阪湾に棲む生物のことを調べようと思う。
- ☐ 海辺の清掃に参加しようと思う。
- ☐ 海や川の水質を汚すようなことはやめようと思う。
- ☐ その他()

7. 今回の(生物多様性の保全活動名)に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

(良かった) ←————→ (良くなかった)
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

8. 今後、同じような生物多様性の保全活動が開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- ☐ 是非とも参加したい。
- ☐ 内容によっては参加したい。
- ☐ どちらとも言えない。
- ☐ 参加しない。

9. 今後、実施してほしい生物多様性の保全活動のテーマがありましたら自由にお書きください。

--

アンケート様式（例）（藻場再生体験用）

1.	今回の（藻場再生体験名）の開催はどこでお知りになりましたか。
	☐ （実施団体名）の公式ホームページ ☐ （実施団体名）の公式 SNS ☐ フェイスブック ☐ X ☐ インスタグラム ☐ その他（ ） ☐ 地元自治体の広報誌 ☐ 他機関の窓口に置かれていたチラシ ☐ その他（ ）
2.	今回の（藻場再生体験名）に参加されて、大阪湾に対してどんなイメージを持ちましたか。 該当するもの全てに「O」を付けてください。
	（学習内容に合わせて選択肢を変更） ☐ 多くの生物が生息している。 ☐ 多くの自然がある。 ☐ 水質がきれい。 ☐ プラスチックなどのごみが多い。
3.	今回の（藻場再生体験名）に参加されて、藻場造成やブルーカーボンの重要性に関する理解は進みましたか。
	☐ よく理解できた。 ☐ まあまあ理解できた。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ あまり理解できなかった。 ☐ 全く理解できなかった。
4.	今回の（藻場再生体験名）に参加されて、（基本テーマ）に関する理解は進みましたか。
	☐ よく理解できた。 ☐ まあまあ理解できた。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ あまり理解できなかった。 ☐ 全く理解できなかった。
5.	今回の（藻場再生体験名）に参加されて、今後、自分でも（基本テーマ）に取り組んでみようと思いましたか。
	☐ 是非とも取り組んでいきたい。 ☐ 取り組んでいきたい。 ☐ どちらとも言えない。 ☐ 取り組むつもりはない。

6. 「5.」で「是非とも取り組んでいきたい」、「取り組んでいきたい」と答えられた方にお伺いします。具体的にどんなことに取り組んでみようと思いますか。

(学習内容に合わせて選択肢を変更)

- ☐ 海ごみの原因となるプラスチック(PET ボトル、レジ袋等)の使用を減らそうと思う。
- ☐ 大阪湾に棲む生物のことを調べようと思う。
- ☐ 海辺の清掃に参加しようと思う。
- ☐ 海や川の水質を汚すようなことはやめようと思う。
- ☐ その他 ()

7. 今回の(藻場再生体験名)に参加されて良かったと思いますか。最も近いと思う数字に「○」を付けてください。

(良かった) ←————→ (良くなかった)
1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10

8. 今後、同じような藻場再生体験が開催されたら、また、参加したいと思いますか。

- ☐ 是非とも参加したい。
- ☐ 内容によっては参加したい。
- ☐ どちらとも言えない。
- ☐ 参加しない。

9. 今後、実施してほしい藻場再生体験のテーマがありましたら自由にお書きください。

【参考文献、情報サイト等】

1. 法令・公的計画等

- ・「『豊かな大阪湾』 保全・再生・創出プラン」大阪府（令和4年10月）
- ・「今後の大阪湾における環境の保全・再生・創出のあり方について（答申）」
（令和4年6月）
- ・「大和川自然再生計画」国土交通省 近畿地方整備局大和川河川事務所
（令和3年3月）
- ・「大阪湾再生行動計画（第二期）」大阪湾再生推進会議（令和元年5月）
- ・「第5回自然環境保全基礎調査」環境省
- ・「大阪湾沿岸海岸保全基本計画」大阪府・兵庫県（平成14年8月）
- ・「エコツーリズム推進法」
- ・「生物多様性国家戦略 2023-2030」（令和5年3月）

2. 冊子等

- ・「大阪湾魅力ウォークマップ」大阪府環境保全課（令和元年11月）
https://www.pref.osaka.lg.jp/o120070/kankyohozen/osaka-wan/osakabay_walk_map.html
- ・「大阪の生物多様性ホットスポット」大阪府みどり企画課（平成28年1月）
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120030/midori/tayouseipartner/redlist.html>
- ・「淀川の干潟にいてみよう！」国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所
（平成27年2月）
<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/nb3uba00000007yw-att/higata.pdf>
- ・「淀川のワンドにいてみよう！」国土交通省 近畿地方整備局淀川河川事務所
（平成28年2月）
<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/activity/environment/nb3uba00000007yw-att/wand2.pdf>
- ・「里海づくりの手引書」環境省（平成23年3月）
https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/common/satoumi_manual_1_2.pdf
- ・「我が国のブルーカーボン取組事例集」環境省（令和5年12月）
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/blue-carbon-jp/pdf/materials/01_jp_1.pdf
- ・「アマモ類の自然再生ガイドライン」水産庁・マリノフォーラム21
<https://www.mf21.or.jp/pdf/amamo/guideline.pdf>
- ・「アマモ場再生ハンドブック」三重県（平成23年3月）
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000661738.pdf>

3. 情報サイト等

- 大阪湾環境データベース
<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/amuse/arekore/view.aspx>
- 大阪湾再生推進会議
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/suishin/>
- 大阪湾環境保全協議会
<https://www.osaka-wan.jp/>
- エコツーリズム（環境省）
<https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/index.html>
- 自然共生サイト（環境省）
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>
- 「令和の里海づくり」モデル事業（環境省）
<https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/story/index.html>
- 大阪湾生き物一斉調査情報公開サイト
<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>
- 大阪泉州環境ガイド（KIX 泉州ツーリズムビューロー）
<https://welcome-to-senshu.jp/>
- 大阪府の漁港（海上保安庁）
https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN5/siryouko/naname/osaka/osaka_gyoko.htm